



たちゅう

2月号① 校長 安上 訓史

★2月の人権を考える日(2/6)について★



2月6日(金)の1時間目に、全ての学級において2月の「人権を考える日」の学習を行いました。各学年、1時間から3時間にかけて人権・部落問題学習に取り組みます。テーマは、「これまでとりくんできたことのすべてを振り返り、今後の展望を考えよう。」です。

- ・1年生では、これまでのとりくみの中で学習した、「学び」の重要性を振り返り、これからの学校生活において「仲間とのつながり」について考えていきます。仲間を大切にすることの取り組みとして、「本当のともだち」とはどんなものなのかについて考えていきます。
- ・2年生では、これまでの学習や諸行事のとりくみを振り返り、先人たちが積み重ねてきた差別をなくす生き方や自分や仲間を大切にすることの生き方について学んでいきます。一人ひとりが学級にある課題に目を向け、それに気づき、課題に向かって立ち向かうための力と姿勢をもつことを目指していきます。
- ・3年生では、差別をなくすとりくみや人権を守る取組の成果を振り返り、まだある身近な課題について考え、それを解決する当事者として行動していくことの重要性を理解させたいと思います。差別を見抜き、それを指摘することができる力をつけてほしいこと、自分自身でできることは何かを考えていきたいと思っています。

～2月の人権を考える日の生徒たちの感想～

【1年生より】

- ・本当の友だちとは、話をしっかり聞いてくれて、裏表のない人だと思います。でも、今すぐにそういう友だちを無理に作るのではなく、「なぜ本当の気持ちを言えないのか」を自分で考えて、その気持ちを大切にしておくことが必要だと感じました。
- ・自分のことを伝えるにはとても勇気がいります。その理由をみんなで考えたとき、「自分のたった一言で関係が壊れてしまうかもしれない」という不安を、みんな同じように抱えていることに気づきました。本当の気持ちを伝えて「本当の友だち」になることは簡単ではありません。でも、これから少しずつそういう友だちを見つけたり、自分も誰かにとっての「本当の友だち」になれたりしたいと思います。そして、いつかお互いに「本当の友だちだね」と言い合える日が来たらいいなと思いました。

【2年生より】

- ・クラスで問題が起こったとき、「一人で言うのが怖い」という理由でそのままにしておくのではな

く、一緒に立ち向かってくれる仲間をつくり、しっかり「おかしい」と伝えることが大切だと思います。そして、指摘された側もその言葉を素直に受け止める姿勢が必要だと感じました。

- ・差別のおかしさに気づき、「しょうがない」「どうせ無理」とあきらめずに立ち向かっていく姿はとてもカッコいいと思いました。立ち向かうためには、まずそのおかしさに気づけることが大切だと感じました。私も治一郎さんのように、何度追い払われてもあきらめない心を持ちたいと思います。

【3年生より】

- ・自分は、誰かに寄り添える人でありたいと思いました。マイノリティ(社会の中で少数派に位置づけられた立場に置かれる人々)の側に自分がいたとしたら、差別されたくないし、特別扱いも望まないと感じます。本当に悩んでいる人が安心できるような言動を心がけ、相談してくれた人が「相談してよかった」と思えるような存在になりたいです。
- ・マジョリティ(社会の中で多数派にいる人)の立場にいる自分は、無意識に差別してしまうことに気づきにくいのが怖いと思いました。それでも、誰かがカミングアウト(自分を打ち明けること)してくれたときに寄り添える自分でありたいです。人は一人ひとり違うから、マジョリティでもマイノリティでも、同じ人間として周りの人を大切にしていきたいと思います。

～振り返ってみよう～

★5月の人権を考える日(5/23)で学習したこと

・1年生では、小学校から積み上げてきた人権学習の整理を行いながら、今まで、学習してきた内容を思い出し、何のために人権学習をするのか、身近に潜む差別について、自分の中にある人の見方について学習をしていきました。

・2年生では、ネット社会と言われる現代において、子どもたちにもSNSが浸透していると同時にWeb上では差別的な内容が氾濫している現状があること。それに対して、何の規制もなされていない状況にある今、誰もが見る SNS 上の差別を見抜き閲覧(加担)しないための学習をしていきました。

・3年生では、被差別当事者が声を上げて始まった様々な運動の延長線上に「人権のまちづくり」があり、それを支えているのが、そのとりのくみ(署名要求運動など)に連帯を表明している学校、保護者、地域であることを学習しています。

★10月の人権を考える日(10/31)で学習したこと

・1年生では、小学校で学んだことを振り返り、身のまわりに存在するさまざまな差別について学習を行った後に、「学ぶ」ことについて授業を進めていきました。内容については、識字学級を取り上げ、その起こりや運動の経過、そこで学ぶ方々の思いに触れることにより、お互いがつながりながら「学び」に向かって行くことが大切であることを学びました。

・2年生では、歴史の中で仲間とともに、差別に立ち向かっていった人たちに焦点を当て、学習を深めていきました。小学校の時に学習した水平社運動を振り返るとともに、その運動の中心人物である西光万吉さんの生きざまについて学びました。ひとりの人権を大切に作る運動やかかわりが、やがて自分自身をも大切に作る社会・学級をつくっていくことにつながっていることを学習しました。

・3年生では、進路に向けた取り組みの中で、運動によって勝ち取ってきたものを学習で深めていきました。面接における問題、社用紙と統一応募用紙、奨学金制度、教科書無償、教育条件整備の取り組みなどすべてが、運動の成果であること、また、その成果が運動をした人たちのものだけではなく、すべての人たちのためになっていることを学習しています。

中学3年生にとっては、中学校で最後の人権を考える日の授業となります。高校で人権について考える授業が行われているかは、学校によって様々なようです。「この三年間で、どんな学習をした?何が一番心に残っている?」と、お子さまとご家庭で話していただければ幸いです。

～学年末テストに向けてしっかり勉強できていますか～

2月20日(金)から25日(水)までの3日間、学年末テストが行われます。1・2年生は9教科、3年生は5教科、予定されています。1・2年生は教科数が多いので、みどりの森ノート等を活用しながら計画的に学習を進めていきましょう。3年生には、入試が終わった人、入試を控えている人がいますが、このテストにも真剣に臨むことが大切です。入試が終わっている人は、高校入学後の学習をしっかりスタートさせるために、入試を控えている人も、受験勉強に向ける心を引き締める上でも「受験勉強の一貫」として努力してください。



～★素晴らしい修学旅行でした(1月28日(水)～30日(金))★～



1月28日(水)～30日(金)の日程において修学旅行(広島・奈良・京都)に行ってきました。学年全員(19人)での参加となりました。いろいろな場面において、クラスの仲間と協力し合って活動する場面が多々あり、班の友だちと京都の町を一日自主研修する2日目は、仲間のことを見つめるよき一日となりました。旅館の方への感謝の合唱も素晴らしかったです。修学旅行を通して成長した2年生が楽しみです。

★小銭夏帆さん、田中彩乃さんが、『きゅうでんはがき新聞コンクール』(エネルギーや環境について調べ、考えまとめるコンクール)に入賞しました!おめでとう!!入賞作品は、九州電力のホームページで見ることが出来ます。

★キャリア教育優良校(文部科学大臣表彰)に選ばれました

立石小・中学校(みどりの森くろつち学園立石小中学校)が、令和7年度キャリア教育優良校として選出され、文部科学大臣表彰を受賞しました。学校・保護者・地域が一体となって取り組んできた活動が高く評価されたものです。日頃より温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。いつもありがとうございます。



～今後の予定～

- ・2/16(月) 学園運営協議会
- ・2/17(火)～2/19(木) 教育相談・学び合い
- ・2/18(水)、19(木) 小中合同あいさつ運動
- ・2/20(金)～2/25(水) 学年末テスト
- ・2/26(木) 手話体験(1年生)